



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）79 名（うち指導医数 36 名）
- 研修医数 1 年目 8 名 2 年目 7 名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学・弘前大学・帝京大学・富山大学・三重大学・新潟大学・帝京大学・信州大学・千葉大学・秋田大学・岩手医科大学・関西医科大学
- 診療科 内科 精神科 神経内科 消化器科 循環器科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 麻酔科 救急診療科 放射線診断科 放射線治療科 緩和ケア外科 病理診断科 歯科口腔外科
- 1 日平均外来患者数 768 名 ● 1 日平均入院患者数 351 名
- 主な認定施設 救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、第二種感染症指定病院



研修プログラムの特色

深谷赤十字病院は、埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。

当院の研修プログラムの特徴は、第一に「病院規模に対して研修医定員枠が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や指導医（上級医）が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起りません。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、2年間で多くの臨床経験を積むことができます。

第二に「研修医の要望に応じ融通性のある研修スケジュール・科目を組むことができる（＝自由度が高い）こと」です。2年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。

また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にはとても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。



プログラム 例 深谷赤十字病院卒後初期臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

	1 ～ 4 週	5 ～ 8 週	9 ～ 12 週	13 ～ 16 週	17 ～ 20 週	21 ～ 24 週	25 ～ 28 週	29 ～ 32 週	33 ～ 36 週	37 ～ 40 週	41 ～ 44 週	45 ～ 48 週	49 ～ 52 週
1 年目 ▶	内 科						外科		非必修科ロ一テ	小児科	麻酔科	救急診療科	
2 年目 ▶	産婦人科	自由選択科			精神科	自由選択科		地域医療	自由選択科				

○必修科目

内科：一般内科(8週)、循環器科、消化器科、腎臓内科、血液内科(各4週) 救急：救急(12週)※2年間の救急外来当直で4週分相当
外科：8週、小児科：4週、産婦人科：4週、精神科：4週、地域医療：研修協力施設(4週)



研修医の処遇

- 給与 ▶ 1年次：35万円/月（賞与10万円/年）、2年次40万円/月（賞与30万円/年）
 手当 ▶ 宿直勤務手当 1.8万円/回（1年次10月から支給し、10月までは半額を支給）、住居手当 最高2.85万円/月
 保険 ▶ 各種社会保険（健康、厚生年金、雇用、労災）適用
 勤務時間 ▶ 8時30分～17時
 当直 ▶ あり（4～5回/月）
 休暇 ▶ 土曜・日曜・祝日・創立記念日（11月1日）・年末年始（12月29日～1月3日）・年次有給休暇（1年次10日・2年次11日）、夏期休暇 3日（7月1日～9月30日）、その他の休暇は病院嘱託・臨時職員就業規則の定めによる

主な臨床研修協力病院 協力施設



- ・小川赤十字病院（比企郡小川町）
- ・原町赤十字病院（群馬県吾妻郡）
- ・佐々木病院（深谷市）
- ・深谷整形外科医院（深谷市）
- ・内田ハートクリニック（深谷市）
- ・井上こどもクリニック（深谷市）
- ・おおしまクリニック（深谷市）
- ・皆成病院（深谷市）
- ・埼玉よりい病院（大里郡寄居町）
- ・秩父病院（秩父市）



当院の魅力

充実した指導環境

①多様な症例を経験できる環境。

第三次救命救急センターがある当院の病床数は474床、研修医募集定員数8名。同規模の臨床研修病院と比較しても研修医数は少ないです。そのため多くの症例を学べて、且つ研修医一人一人に対して指導が行き届く環境です。

②英文抄読会を月1回研修医が持ち回りで行う。

市中病院において英語論文を読む機会は少ないため、日時を決めて研修プログラム責任者と研修医で英文抄読会を行っています。

③研修医同士の仲が良い。

国公立・私立など全国の大学から集まるため、すぐに仲良くなります。研修医室の雰囲気も非常に良いです。

このように、研修医一人一人が自ら考え・学び、主体的に行うことで基本的な臨床能力と態度・習慣が身につきます。



研修責任者から message

当院は地域の基幹病院として高い専門性と一般性を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験を積むことができます。

初期臨床研修は、将来何科に進むにせよ、診療の基本的知識・技能と臨床医として必要な態度・習慣を学ぶ大切な期間であります。

患者さん、コメディカルとのコミュニケーションなどは、次第に裁量権の増していく医師にとってはこの時期に身につけねばならない臨床医として大切な態度・習慣です。知識と技術は専門分野で研鑽を積むにつれ確実に増えて行きますが、態度・習慣は逆に疎かになりがちです。

当院では、研修医に実践してもらうのを原則にしていますので、技術的SKILL UPが体感できると共に、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば温かみのある研修環境を目指しています。

今専門医制度が大きく変わろうとしています。初期臨床研修は単なる専門医への前段階でなく、先に述べたように臨床医としての心構えを形成する大事な期間です。当院での研修を通じ、患者さんを中心にコメディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれる事を願っています。



院長（プログラム責任者）
伊藤 博



先輩研修医から message

当院の研修プログラムは自由度がとても高く、研修医一人ひとりの意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長で、2年目に希望選択科を多く選ぶことができるため、将来希望する診療科が定まっている人も、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人も融通を利かせられるくプログラムであることが特長です。

当院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科や病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少なめなので、研修医一人当たりが経験できる症例や手技が豊富にあります。また、救急当直では1次救急から3次救急まで研修医が全てファーストタッチで診察し、上級医の指導のもと主体的に診断や治療を完結することができるため、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。病院スタッフの方もみな温かく接してくださり、アットホームな雰囲気の中で研修をできるのも魅力の一つです。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております！



研修医2年目
菅原 洋平



女性医師支援コーナー

当院は、女性職員への支援制度として以下の特別有給休暇制度を就業規則で定めています。

- ・産前産後休暇（母子保健法の定めによる勤務免除含む）
- ・生理休暇
- ・育児休業（育児短時間勤務含む）

- ・子の看護のための休暇
- ・院内保育園

※院内保育所（利用対象は、生後2ヶ月から小学校就学前まで）があり、職員であればどなたでも利用可能なため、子育て中の職員が安心して仕事に専念できます。

その他の福利厚生については、お問い合わせください。



連絡先 深谷赤十字病院

人事課

〒366-0052 深谷市上柴町西5-8-1

TEL ▶ 048-571-1511（代表） FAX ▶ 048-573-5351

E-mail ▶ jinji@fukaya.jrc.or.jp

URL ▶ <http://www.fukaya.jrc.or.jp/>

アクセス ▶ 高崎線深谷駅からバス8分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付中ですので、お気軽にお問い合わせください（HPから申込みができます）。プログラム責任者が直接・丁寧に当院の研修プログラムの特徴をお伝えします。

レジナビフェアで皆様とお会いできるのを楽しみにしております！